

令和2年7月27日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥 山 泰 全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 財 務 部 長 権 代 徹 也
 (TEL. 03-4540-3804)

2021年3月期第1四半期連結業績速報値に関するお知らせ

2021年3月期第1四半期決算短信(連結)につきましては、7月30日に開示の予定ですが、速報値を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績速報値(2020年4月1日~2020年6月30日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 (当期)純利益
2021年3月期 第1四半期(速報値)	1,030	△235	△235	△223
2020年3月期 第1四半期(実績)	1,305	75	60	38
増減率(%)	△21.1	—	—	—
2020年3月期 (実績)	5,872	622	595	249

当社グループは、金融商品取引業(外国為替証拠金取引業)を営んでおり、当社グループの業績は相場動向や市場流動性等のマーケット環境並びに国内及び海外の経済環境等からの影響を大きく受け予測が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

上記の速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は速報値と異なる可能性があります。

2. 前第1四半期実績と当第1四半期速報値との差異の理由

営業収益は、外国為替取引高が前期比25.6%増加したものの、主として新型コロナによる世界的な金利低下の影響を受け、トレーディング損益が165百万円(△14.2%)減少、受入手数料が海外渡航需要の蒸発によりマネパカードの海外利用を中心に17百万円(△68.8%)減少したほか、システム関連売上高が70百万円(△74.7%)減少したこと等により275百万円(△21.1%)の減少となりました。

損益については、システム関連の売上高減少に伴う売上原価65百万円(△86.4%)の減少、広告宣伝費の見直し及びマネパカードの利用による変動費減少等の減少要因があった一方、新基幹システムの稼働に伴う減価償却の開始及びコインエージ社の連結子会社化による固定費の増加等の増加要因があり、販売費・一般管理費が109百万円(9.9%)増加したことから、営業利益は311百万円の減少、経常利益は295百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は261百万円の減少となりました。

以 上